

ハーマンカードンの 重厚なサウンドに びっくり

私の場合、インカムはソロツアーのBGMを聞くのに使っています。だから、何人で話せるとか、どれだけ電波が届きます、といったことよりも、とにかく音がよくないとダメ。だから60Sの音のよさにはびっくり。ハーマンカードンのスピーカーから流れる音はとても自然で、走っているバイクの音に負けないパワーがあるのにも驚きます。また、専用アプリのイコライザー設定を調整することで、曲のジャンルに合わせて音質を変えられるのも気に入っています。



Bさん
ソロ派の
他社インカム
所有者



電源をON! 後はアプリで 全部できる

もともとインカムってペアリングとか操作が難しいと思っていたんだけど、60Sのようなハイエンドモデルって多機能で使いこなせないイメージが強かった。なにより、ヘルメットに付けて使うから、操作が目に見えなくて、「今、インカムがどういう状態なの?」「ボタンで希望の機能を選んだつもりなのに、別の機能を呼び出してしまった」といった煩わしさがあった。60Sは箱出しして電源を入れたらすぐにスマホにつなげるし、アプリを使えばいろんな機能をスマホの画面で操作できる。60Sの今の状態が一目でわかるし、機能を選ぶのも目で確認しながら操作できるから間違いがない。



Aさん
インカム
初心者



今までのSENA にはなかった 見た目の遊び心

60Sを一目見てそのデザインに惹かれた。インカムってなるべく目立たない方がいいという考え方もあるけれど、60Sはむしろ人に見せたいデザイン。フェイスプレートやLEDアレイの色を変えてカスタムできるというコンセプトが新しい。4色のプレートが同梱されていたり、専用アプリでLEDの色が変えられるので、その日の気分に合わせて組み合わせを選べるのが楽しい。



Dさん
SENAユーザー
20S
使用者



フェイスプレート同包(全4色)



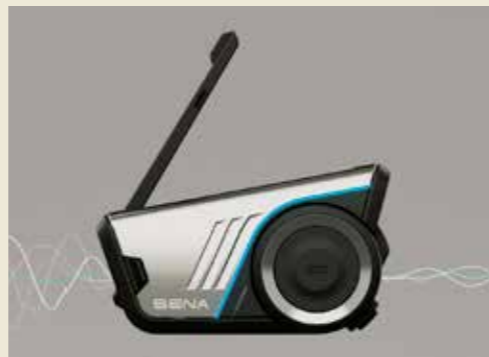
RideGlow

インカムがそろわない 友人たちの 救世主に!?

仲間の間でいつも話題に上るのが、みんなでどこのインカムに揃えるか、ってこと。インカムって一般的にメーカーが違うとつながらないし、さらにBluetoothウースにメッシュとか、システムが違うとつながらないって言うでしょ。だけど60Sはセナメッシュに加えて、セナのBluetoothウース・モデルにもつながる。さらにユニバーサルインターコム機能を使えば、他社インカムにもつながるので、接続相手を選ばないというのと、ノイズキャンセリング機能で声が聞こえやすいのも魅力。



Cさん
複数ツーリング
で体験



さらに、60Sの先進的なデザインを支持するインプレッションも。最近のバイクやクルマに採用されているエッジの効いた60Sのデザインに加えて、フェイスプレートやLEDアレイの色をカスタマイズできるコンセプトが面白いという反応も。世界的なデザインアワード「IFデザイン賞」を受賞した60Sのデザインを高く評価する人もいるようだ。

こうした60Sに対する声は、あくまでもユーザーそれぞれの視点によるもの。それだけに、今度はアナタが60Sを実際に使ってみて、数々の感想を確かめてみてはどうか。

機能を簡単に使いこなせるのが意外、というものだ。また、セナのハイエンドモデルに採用されている高級オーディオ「ハーマンカードン」のサウンドが、第二世代のスピーカーを採用するなど進化している。こうした音のよさを挙げるユーザーも多い。

一方で、通話システムが「最新のメッシュ3.0に進化したのはいいが、60S同士でしかつながらない?」という不安の声も。しかしメッシュ3.0、Bluetoothウース、ユニバーサルインターコム機能で、他社のモデルも含めて接続することができると安心してほしい。

SENA 60S



SENA最新インカム「60S」

個別 インプレッション!

セナ・インターコムの最新にして最高峰のメッシュ3.0インターコム「60S」さっそく実際に60Sを使ってみたというユーザーからの声聞こえてきたそんなファーストインプレッションに共通しているのは、“カンタンな操作性”と“デザイン”“音のよさ”に加えて、“相手を選ばず誰とでもインターコム通話ができること”といった声だ

文/八百山ゆーすけ
問:セナBluetoothウースジャパン <https://senablueooth.jp>

60Sができること

- メッシュ3.0
インターコム通話
- オーディオマルチタスク
- ユニバーサル
インターコム通話
- スマホでカンタン
アップデート

他にも
たくさん!

簡単、いい音、デザイン
相手を選ばないことを評価

2025年のツーリングシーズンに向けて、セナが満を持してデビューさせたニューモデルが「60S」だ。最新のメッシュ3.0テクノロジーを搭載し、今まで以上に仲間とスムーズにつながり、そして音もいいという新しいグループ通話システムとなっている。セナだけの「ハーマンカードン」サウンドは、第二世代に進化。また、60Sのスマートフォン用アプリも進化していて、アプリをインストール

したスマホと60Sを接続すれば、普段の操作がスマホの画面上でできるだけでなく、ファームウェアのアップデートまでスマホ経由でできてしまう。

そんな60Sをいち早く使ってみたユーザーからは、「カンタン」「音がいい」「誰とでもつながる」「カッコいい」といった声が上がってきている。60Sはセナ・インターコムの中でも最新のフラッグシップ。最上級のモデルとなると、さまざまな機能が詰め込まれているイメージが強い。しかし60Sの感想に共通しているのは、そんな

60S

価格: 6万4680円 (デュアルバック11万9680円)

通話時間: Bluetoothインターコム/最大24時間
Meshインターコム/最大17時間
サイズ(メインモジュール): 94×52×27mm

